



がん検診を 受けましょう!!

～元気で「もしも」のためです がん検診～



大阪府広報担当副知事
もずやん

がん検診で **早期発見** **早期治療**

「検診」で、病気に早く気付くことが大切!

がんは死因の第1位で、生涯のうち2人に1人はがんになるといわれています。日頃から、運動・食生活・禁煙に注意して生活することで一次予防に努めることが大切ですが、それだけでがんを防ぎきるのは困難です。検診による発見の精度は向上しており、また、医療技術の進歩により早期治療が可能になっています。早期で発見できれば完治可能ながんも多くあります。がん検診は、職場や自治体で行っている健康診断や人間ドックなどがあります。がん検診を必ず受けましょう。

推奨されているがん検診の対象年齢と受診頻度

肺

40歳以上(年に1回)

胃

50歳以上(2年に1回)*

大腸

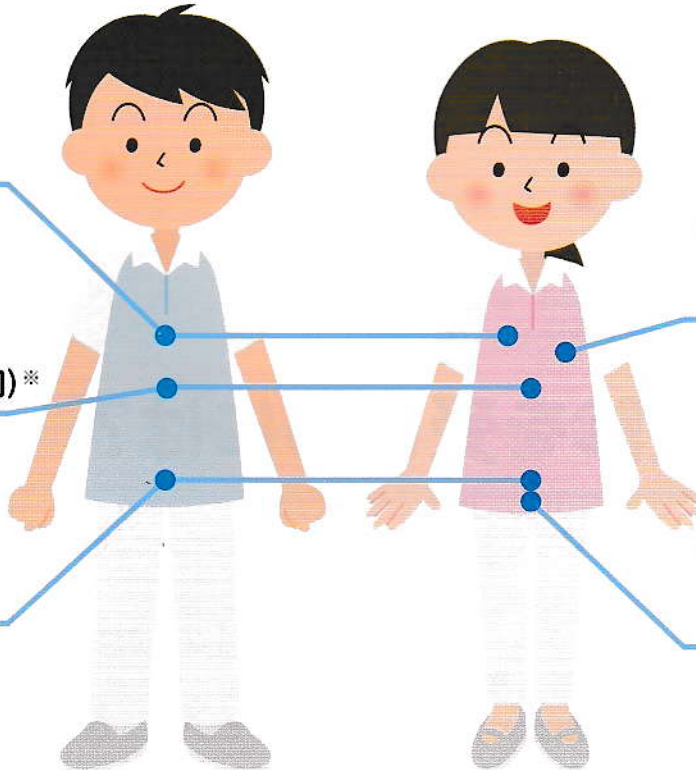
40歳以上(年に1回)

乳房

40歳以上(2年に1回)

子宮

20歳以上(2年に1回)



*ただし、胃部エックス線に関しては、当分の間、対象年齢を40歳以上とし、年1回実施可。

大阪府がん検診受診推進員がお届けしています



ご存知ですか？ 都道府県別のがんのデータ

大阪のがんの実態

～大阪のがんの実態についてお知らせします。～

Q1 死亡原因におけるがんの割合は、どの位でしょうか？

昭和56(1981)年から日本人の死亡原因の1位となっている病気です。全国と比べて高い・低いだけの問題ではありません。

死亡原因	大阪	全国
がん(悪性新生物)	30.7% (全国第2位) <small>交通事故の約100倍</small>	28.5%
心疾患(高血圧性除く)	15.7%	15.1%
脳血管疾患	6.6%	8.4%
交通事故	0.3%	0.4%
その他	46.7%	47.6%

厚生労働省「平成28年 人口動態調査」

がんの死亡割合 全国順位

- 1位 北海道 31.0%
- 2位 大阪府 30.7%**
- 3位 福岡県 30.4%
- ⋮
- 47位 徳島県 25.1%
- (全国平均 28.5%)



Q2 部位別のがんの死亡割合は、全国と比べてどの位でしょうか？

全国平均に比べ、部位別では以下のような指数*となっています。部位別の傾向があります。

*死亡者数に対し、各がんの死亡者数が占める割合について、全国平均を100として指数化したものです。

	全がん	胃がん	肺がん	大腸がん	乳がん	子宮がん
大阪	108	108	115	101	107	109
全国	100	100	100	100	100	100

厚生労働省「平成28年 人口動態調査」

Q3 がん検診はどのくらいの方が受けているのでしょうか？

<がん検診受診率 平成28(2016)年>

	胃がん	肺がん	大腸がん	乳がん	子宮頸がん
がん検診受診率	33.7%	36.4%	34.4%	39.0%	38.5%
全国	40.9%	46.2%	41.4%	44.9%	42.3%

国民生活基礎調査

一生涯のうち、男性も女性も、約2人に1人は、がんにかかります。

(公財)がん研究振興財団「がんの統計<2015年版>」2008年罹患・死亡データに基づく累積生涯がん罹患リスク 男性61.8%・女性46.0%

しかし、医療技術の進歩と検診での早期発見で、がんは治せる病気に。

がんの5年相対生存率*1(がんの進行度が「限局」*2の場合)

胃	結腸	直腸	肝臓	肺	乳房	子宮頸部
95.9%	97.4%	95.1%	45.8%	80.6%	98.9%	93.4%

国立がん研究センター

*1 「5年相対生存率」とは、ある集団で算出した5年生存率(ある疾患と診断されてから5年後に生存している確率)を、その集団と同じ性・年齢・出生年分布をもつ日本人の期待5年生存率で割ったもの。対象疾患以外の死亡の影響を調整した5年生存率。

*2 地域がん登録で用いられる、がんと診断された時点における病巣の広がりを表す分類。「限局」は、がんが原発臓器に限局しているもの。

がん検診の定期的な受診とともに、民間のがん保険などで経済的な備えをすることも重要です。



がん検診やがんに対する備えに関するご質問は、下記お問合せ先までお寄せください。

お問合せ先

〒541-0046
 大阪市中央区平野町1丁目5-11 エルギャラン平野町ビル4階
真弓総合コンサルティング
 TEL 06-7878-8637 FAX 06-7635-8199
 MAIL info_mayumi@svk.jp

作成会社

東京海上日動火災保険株式会社
 [担当課支社]